

9. 収穫

(1) 選果基準 別紙のとおり ([別紙「もも・ネクタリン出荷基準」リンク](#))

(2) 荷受け方法

各流通センターよりもも部会を通じて集荷計画表が配布されます。

集荷日、時間、場所、方法については、集荷計画表・支部だよりを参照してください。

(3) 適期収穫

朝取りを基本とし、適期収穫を徹底しましょう。

- ・収穫は、果実の色付きと、熟度・果肉の硬さで判断しましょう。

条件	早い	⇒	遅い
樹勢	弱い樹	⇒	強い樹
樹体	上部	⇒	下部
	外側	⇒	内側
枝	先端	⇒	基部
気象	曇天降雨	⇒	高温乾燥

- ・適期収穫のタイミングは、果柄部の地色が白色になったものです。
- ・硬さは、手のひらによる弾力感で判断します。
- ・糖度9.0度以下のものは規格外となります。
- ・着色の良い品種のため、未熟果を収穫しないよう注意してください。

(4) 収穫の仕方

- ・樹の上・外の大玉なものから収穫します。特に変形果（核割れ）は熟期が早いので注意しましょう。本格的な収穫は、開始から3日目あたりからピークとなり、8日間位で終了するのが望ましいです。
- ・収穫最盛期は、玉の大きさによる熟しの差がなくなります。
- ・収穫の時間は、鮮度保持のため、果実温度が低い早朝に行います。果実の温度が高くと、収穫してから柔らかくなるまでが早くなります。
- ・収穫カゴに入れすぎによる、下積果実の打撲に注意しましょう。
- ・収穫用コンテナをキレイにしておきましょう。ウレタンを濡れたままにしておくと、腐れを助長するので乾かしておきましょう。